

4. 脳梗塞慢性期

4-1. 脳梗塞再発予防(抗血小板療法、無症候性脳梗塞を除く) (8) フィブリノゲン高値

推奨

フィブリノゲン高値に対して治療を行うことを考慮しても良いが、再発予防を目的として本療法を勧めるだけの十分な科学的根拠がない(グレードC1)。

●エビデンス

フィブリノゲン高値は、脳梗塞の危険因子であるとする肯定的な報告が多い。男性の血漿フィブリノゲン値は、非脳卒中群330mg/dLに比べて、脳卒中群370mg/dLと有意に高い¹⁾(IIb)。フィブリノゲンを126~264mg/dL、265~310mg/dL、311~696mg/dLの3群に分類した検討では、男性の脳卒中発症と正の相関がみられるが、女性では認めない²⁾(IIb)。フィブリノゲン360mg/dL以上では、脳卒中発症のリスクは1.78倍である³⁾(IIb)。

フィブリノゲンを低下させる代表的薬剤は、ancrod(パトロキソビン、本邦未承認)とdefibrase(本邦未承認)であるが、フィブリノゲン値を低下させることにより脳卒中の再発を予防しうるか否かを検討した報告はない。

引用文献

- 1) Wilhelmsen L, Svardsudd K, Korsan-Bengtson K, Larsson B, Welin L, Tibblin G. Fibrinogen as a risk factor for stroke and myocardial infarction. N Engl J Med 1984 ; 311 : 501-505
- 2) Kannel WB, Wolf PA, Castelli WP, D'Agostino RB. Fibrinogen and risk of cardiovascular disease. The Framingham Study. JAMA 1987 ; 258 : 1183-1186
- 3) Qizilbash N, Jones L, Warlow C, Mann J. Fibrinogen and lipid concentrations as risk factors for transient ischaemic attacks and minor ischaemic strokes. BMJ 1991 ; 303 : 605-609